

みんなのスペース

やまだ文芸広場

春がすみ

野辺のみどりも

見えかくれ

名もなき小どりの

さえずりによろ

①よ

万作の花

ひとつふたつ

咲きはじめ

小鳥さえずり

五線譜はねる

小林
りつ子

五行歌

アヤメのつぼみ一輪

時間とともにふくらみ

やがて満開

純白の

ウェディングドレスのよう

大平
澄子



何もかも奪い去るかの春の風

コンビニの袋舗装路走る

いっちゃん

冬晴れば風冷たくも気持良し

窓辺の下に福寿草出づ

内館
洋一

猫柳

震災の3月11日は、早朝からおだやかだったので忘れられない。

家事をすませて陽気にさそわれて散歩に出かけた。川土手の斜面には自由に蔓をのぼした猫柳が、ふっくらと咲きみちていた。

まさか午後、大地震、大津波がくるとは。川土手をながめながら、年々うすれていく猫柳を複雑な思いで歩いている
菊地 サカエ

2月26日

天津木村さんの講演に行ってきました。岩手に移住したこと、芸能界のこと、いろいろと話し、楽しく聞くことができました。

「おもっせがったー」

あると思いますのファン

町長室から

東日本大震災から12年目を迎えた。改めて犠牲になられた方々に心より哀悼の意を表する次第であります。現在の役場から見ると、柔らかな春の光に包まれた町並みは震災の惨状を思い返すとまさに別世界であり、当時の状況を知らない人は想像することすらできないと思う。12年と一口で言うのはたやすいが、ここまでの道のりには町民のたゆまぬ苦労があつてのことである。そして現在もその苦労を背負って過ごしている町民も多くいる。行政はそのことをしっかりと受け止め、悩みを抱える方々に寄り添っていかねばならないと改めて思う。過日、日本の出生数が80万人を下回り、過去最少を記録した。この危機的な状況に、当町では本年度から小中学生の給食費を完全無償化し、子育て家庭を支援していくこととした。このことにより当町の出生率が少しでも上がったほしいものである。

山田町長 佐藤 信逸